

令和6年度活動方針等について (会長)

1 前言

令和元年度から続いておりましたコロナ禍もほぼ収束しつつあり、昨年度は、各部隊等の活動も概ね例年ペースとなり、県隊友会活動も、隊友会本部の皆様及び各支部・会員の皆様のご協力を得て順調に進めることができました。ご協力、ありがとうございます。

ロシアによる一方的なウクライナ侵攻の行方も見通せない中、中東地域におけるイスラエル・パレスチナ紛争等、世界の軍事情勢は依然として混沌としており、一方、我が国を取り巻く東南アジア地域の軍事情勢においても、覇権主義を顕著にさせつつある中国の影響により、台湾・尖閣問題等、益々緊迫度を高めつつあり、我々も今後の世界情勢等に関心を持ちつつ、活動する必要があります。

2 令和6年度の活動方針等について

「県民と自衛隊のかけ橋として、県民の防衛に対する一層の理解と認識の向上に務め、防衛及び防災施策、自衛隊諸活動並びに予備自衛官等の支援を基本とし、慰霊顕彰事業及び地域社会の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する。」を方針とします。

以下、各施策における重視事項等については、下記のとおりです。

(1) 全般事項

ア 会勢拡大

- ・退職予定者情報の獲得と早期からの接触
- ・個人会員の組織化、未加入者の発掘
- ・空白地域における支部結成、掘り起こし

イ 組織の魅力化

- ・各部隊指揮官等及び退職予定者等に対する隊友会説明
- ・福利厚生、各種親睦事業の推進と周知徹底

ウ その他

- ・家族支援施策の充実、検証訓練への参加
- ・憲法改正等、各種防衛思想の普及及び各種慰霊・顕彰事業の推進
- ・アフターコロナ時代に適合した活動の推進
- ・各種収益事業の推進及び会務の効率化・IT化の推進

(2) 支部活動

ア 各支部の特性・環境に応じた事業の計画と推進

イ 警備隊区担任中隊との平素からの連携と交流

ウ 自衛隊家族会と連携した行事への協力と共同開催

(入隊者激励会、各種訓練見学、部隊見学、各種激励会等)

エ 各自治体等との連携強化

- ・各自治体等が実施する各種防災訓練等への参加(協力)、協定の締結
- ・各自治体等の防災部署等への自衛隊OB採用の働きかけ



勝吉危機管理専門官

鹿児島市危機管理専門官に上番して鹿児島地区協議会 勝吉洋氏

令和4年小平学校を最後に定年を迎えるにあたり、九州での再就職を希望していたところ、鹿児島市にご縁があり、同年

4月から危機管理専門官としてお世話になっており、今年で3年目を迎えました。鹿児島市はご承知の通り、大雨や台風、桜島、川内原発等、防災上の観点から予断を許さない地域です。そういった環境下、市として取り組んでいる重要な訓練の一つに今年で55回を数える「桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)」があります。消防、県警、海保、陸・海自衛隊等を含む参加機関約70団体参加者約1700名にも及ぶ大規模な訓練です。

この訓練においては、隊友会の皆様にも積極的なご支援を頂いており、円滑な訓練の運営に数多くの場面で貢献して頂いており、本当に心強く、感謝の言葉しかありません。本訓練の特徴は、桜島で行われる事、住民約200名がバス等を利用した避難行動を実際に行う事、防災関係機関が状況付与をもとに調整を行い実行を行う事等があります。私が本訓練を企画するにあたり、特に留意していることは、「基本的な

ことを繰り返し行う」、いわゆる「基本・基礎に徹する」という事です。得てしてメディア受けや新規物に目が行きがちになるのですが、本来の目的である「住民を確実に避難させること」を常に考え取り組んでおります。他方、懸案事項等もまだ数多くあり、根気強く幅広く、繰り返し行うとともに、多くの住民に参加したいと思えるような魅力的な訓練にも取り組まなければならぬと、日々考えているところで最後に、現在、国民保



発行 鹿児島県隊友会 発行責任者 児玉健二郎 印刷 (株)新生社 鹿児島市七ツ島 TEL 099-261-0111

会長時代の思い出 前県隊友会会長 宮口修一氏

昨年5月に識見、経験豊かな児玉会長に会長職を引き継ぎました。在職間、皆さんにはご協力頂き誠にありがとうございました。会長下番直後から隊友政治連盟会長、8月から鹿児島偕行会長を務めています。引続きご支援ご協力を宜しくお願いいたします。



宮口修一前会長

本題に入りますが、主な思い出(感想)を列挙します。①コロナ禍終盤に九州沖縄ブロック大会を担当。コロナ禍で福岡開催が2年延期になりそのまま鹿児島担当となりました。数年ぶりの開催となり前担当時の記録・記憶も少なく前年担当県の研修も無い状況で、初めての開催地指宿を選定しましたが、自衛隊で経験豊かなスタッフの献身的な準備と行動で大過なく終了さすがと！

組織票は期待薄、自衛官は選挙に無関心？基地や駐屯地の所在する市町村でOB会員が立候補する選挙では所属隊員数×1.5以上の得票数を期待しましたが、所属隊員数の半分にも満たず愕然！自衛官は選挙に関心が低い、或いは忙しくてそれどころではないのか？自衛隊内外のあらゆるチャンネルを駆使した教育・広報が必要！③英霊、殉職隊員の慰霊顕彰行事に数多く参列し感謝と責任を痛感。慰霊顕彰行事に参列及び慰霊の言葉奉告の機会を得、今日の平和な生活を享受できることへの感謝と未来へ引継ぐ責任を痛感！世間では不戦の誓いや平和の祈りで思考停止し、大事な未来へ引継ぐ努力・行動について言及しない？野党系議員に

もせめて英霊や殉職隊員への感謝の気持ちを期待！無理？④安全保障環境及びそれによる隊員の勤務環境の激変を痛感。相次ぐ部隊の新改編・配置、新装備の導入、大規模演習の常態化そして募集環境は最悪！私達も浦島太郎にならないようしっかりと勉強を！部隊の充足、基礎となる部隊の訓練、隊員の処遇等は大丈夫かと心配？募集協力超重要！以上、思いつくまま記述しました。現役の出来ない困難なことをしつかりカバールし「国民と自衛隊のかけはし」となりましょう。

いま世界のいたるところで戦争という言葉が聞かれますが、武力紛争を全て戦争と捉えている日本国民の如何に多いことか。▼国際法上の戦争すなわち大東亜戦争以前の国と国家の戦いが戦争です。ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナ(実態はハマス武装勢力)等、国際法上は武力紛争になります。これは、日本の防衛を考えるうえで、重要な要素です。▼憲法九条論議がよくされていますが、これはGHQが(占領中に憲法を制定させることそのものが戦時国際法の違法行為なのだが)その国際法上の戦争放棄を占領国の日本に求めたもので武力紛争とは違いますが、ウクライナ紛争はロシアがウクライナ領土に侵入してしまっています。現在の紛争前のクリミアは2014年3月に約1ヶ月で併合されています。現代は国家が戦う戦争は、国際社会が許さないでしょう。でも、紛争は理不尽な理由を付けて行われています。クリミア半島の面積は、台湾島より少し小さい程度です。▼今、中国がロシアと同じ理由を付けて併合を画策しています。ウクライナ紛争の帰結は、台湾の防衛に直結します。そのために米国、欧州、日本等の民主主義国家が全力で対応していることを日本の人々には知る必要があります。それが出来るのは今までの戦争をいかに回避するかのため部隊を育ててきた隊友会の皆様方と活動が未来の日本を担っているという信念で団結して頑張るといえます。



中種子支部の会員連

中種子支部定期総会を開催 中種子支部事務局局長 酒井房幸氏

令和6年度県隊友会中種子支部定期総会を開催しました。会員15名、特別会員1名と今回は、鹿児島地本種子島駐在員事務所から所長の中脇3佐と遠藤広報官の2名が

特別参加しました。総会冒頭の折、会長から要望があり、前会長永浜さんの逝去、海上自衛隊ヘリ事故に対する黙祷を捧げた後、議事を進めました。役員改選において8年間会長を務められた徳永純支部長に代わり徳永留夫支部長、大町田勇希支部長が満場一致で選出され、滞りなく総会を終了しました。その後懇親会に移り、支部活動の推進と自衛隊演習等の支援併せて隊員募集の協力に多くの意見と賛同をいただき、楽しい歓談の場となりました。

隊友会 統轄副会長 木房 巧誠

馬毛島基地(仮称)整備の近況

西之表支部長 中原 勇氏



西之表市の馬毛島

令和元年11月29日に、政府が馬毛島の買収を約160億円でタストン社と合意し、馬毛島問題は基地整備に向け、大きく前進しました。八板市長は、この時点では一

地元の理解は得られていない」と反対の姿勢を表明しており、令和3年末に、馬毛島がFCLPの候補地から整備地へと大転換したことから、市長は令和4年1月中旬に各種団体等から意見を聞く場をセツトし、再編交付金や基地整備による経済効果を期待する声が一予想以上に多かった」として、同年2月3日に、防衛大臣に対して「再編交付金等の交付や隊員の居住等についても、特段の配慮」を要望しました。

これ以降、市長は基地建設反対を封印し、現在も賛否を明言しない状態で馬毛島問題に対応しているところですが、特段の配慮を要望したことにより、再編交付金が交付されることとなり、令和6年度は西之表市に207億円が交付される予定です。

反対派は、市長の「リコール」を行いました。獲得した署名数は数百名程度で不成功に終わりました。令和5年1月に基地建設の工事が始まり、令和6年5月現在、仮設棧橋の工事が完了し、滑走路の建設を急ピッチで進めているところですが、工事関係者は、来年2月頃、馬毛島に4000人、種子島本島に2000人を見込んでおり、かつてないほどの規模で基地整備を行っており、2025年度末以降に米空母艦載機の陸上離発着訓練FCLPを開始できる見通しです。

この大規模な基地建設により、地元は建設パブルの状態です。ホテルなどの宿泊施設はほぼ満杯市内の空き地には「コンテナハウス」や簡易ホテルなどの宿泊施設が立ちこちに建設されており、ゴミ問題や交通渋滞など市内が一変している状態です。

漁民の多くは漁船を使つて「日給9万円」の海上タクシーを運行。地元地元の農家は日当2万円、月収70万円の工事関係者へと流れており、産業への影響は少ない現状です。馬毛島基地が無事に完成し、南西諸島最北端の訓練基地、大規模災害対応の拠点としての役割を担ってくれることを切望する今日この頃です。

会員紹介

知名支部 藤崎幸八郎氏



元気一杯の藤崎会員

沖永良部島知名町支部です。知名町支部は、会員24名で隊友会活動に取り組みしております。特に、地元で所在する空自沖永良部島分屯基地第55警戒隊との交流や島嶼防衛訓練で展開する陸、海自衛隊の慰問等を積極的に行っており、その知名町支部で頑張っている会員を紹介します。3年前から支部の事務

局長を引き受けて会発展のため日々奮闘しているのは、藤崎幸八郎会員です。昭和55年3月空自一般隊員として入隊、新隊員教育課程終了後は、静岡岡原浜松基地の第2術科学校で警戒管制リーダー整備員の教育・訓練のため約半年間の学生生活を送り終了後は、北海道稚内分屯基地勤務から部隊勤務が始まりました。稚内勤務2年目で努力の甲斐あつて曹候補生に合格しました。勤務基地は、稚内を皮切りに沖永良部、五島列島、沖永良部、沖繩県久米島、那覇基地、最後に沖永良部島勤務で平成27年11月に35年7か月の航空自衛隊勤務で定年を迎えました。

【自衛隊みなと祭りのお知らせ】

- 日程：令和6年7月27日(土)
 - ・ 入港歓迎行事
 - ・ 艦艇(特別)公開等
 - ・ 7月28日(日)
 - ・ 艦艇(一般)公開
 - ・ 装備品展示
 - ・ ステージイベント
 - ・ 募集・催事ブース
- 場所：鹿児島港本港(北埠頭1号岸壁)

南さつま支部紹介

南さつま支部長 加治原文浩氏



主役大賞受賞の有馬秋義隊友

竹ノ内純一前南さつま支部長より同支部長を引き継ぎまして早5年が経過致しました。当初20名以上おりました隊友も高齢化や退会により、現在15名となっております。このまま減少した場合は、南さつま支部としての運用も非常に厳しい状態です。こういう中、県隊友会事務局より手厚い支援を受けつつ、地本知

覧分駐所と連携を取りながら細々と活動しております。当支部は南さつま市の金峰町を除く全ての地区を対象としており、大きな行事としては、第12普通科連隊第3中隊の現地訓練時の激励、応援等や万世にありまます万世特攻慰霊碑前で毎年行われる慰霊祭に参加しております。

慰霊祭への参加もコロナ禍での参加者の減少や高齢化に伴い、今年の参加者はついに2名のみとなりました。当支部長は万世特攻慰霊碑奉賛会の理事も兼ねており、会議では理想論を発言し、会長の南さつま市本坊市長からは、「今は現実的な活動の発言を」と求められています。

また、地元の万世ストア社長富房芳樹氏が立ち上げた「万世特攻を考える会」があり、地元のお漬物の水溜食品会長、お醤油屋の丁子屋会長、料理旅館松屋社長などと旧軍人だった方や、特攻で散華されたご親族の方々を交えた前夜祭に毎年参加しております。

昨年支部の有馬秋義隊友が、本坊市長より第一号の「主役大賞」を受賞しました。これは目立たないながらも地道な活動で地域の模範となり元氣や笑顔を届けた市民を表彰する制度です。また、竹ノ内純一前支部長が本年度の隊友会本部会長表彰を受賞されることになりました。小さい支部ながらも、今後も新しい隊友を確保しながら、南さつま支部は可能な限り頑張つてまいります。

部隊勤務の思い出

出水支部長 花田 豊喜氏



ホークミサイル発射の状況

陸自高射学校での学生生活卒業後、高射教導隊に配置され「高射特科隊員の先達として全国の隊員を教え導く任務」に志を高くして部隊勤務及び担当器材の予防整備・点検等に専念しておりました。

そんな中、アメリカ合衆国「テキサス州フォートブリス」での地对空ミサイルホークの年次射撃メンバートに選出されたのは、初級陸曹間もない時期でした。地对空ミサイルホークは、システム器材であり年次射撃要員として担当した器材の中で最も苦労したのは、中隊統制器材のBCCでした。制限された時間内に各器材をシステムとしての点検等を実施して、対空射撃の為に全ての器材性能を最高度に発揮することを目標に実施しました。初級陸曹の私が、各器材の整備・運用に精通した上級陸曹や先輩達を指してシステム点検をやる際は大変苦労しましたが、この経験がスキルアップ及びシステム点検の効率的な実施要領等に役立ちました。

実弾射撃訓練当日は、選出メンバーだけでなく中隊の残留者及び支援していた関係部隊等の局長を引き受けて会発展のため日々奮闘しているのは、藤崎幸八郎会員です。昭和55年3月空自一般隊員として入隊、新隊員教育課程終了後は、静岡岡原浜松基地の第2術科学校で警戒管制リーダー整備員の教育・訓練のため約半年間の学生生活を送り終了後は、北海道稚内分屯基地勤務から部隊勤務が始まりました。稚内勤務2年目で努力の甲斐あつて曹候補生に合格しました。勤務基地は、稚内を皮切りに沖永良部、五島列島、沖永良部、沖繩県久米島、那覇基地、最後に沖永良部島勤務で平成27年11月に35年7か月の航空自衛隊勤務で定年を迎えました。

本人曰く、思い出に残る勤務は、最初の任地稚内で経験した冬の厳しい寒さ、そして曹候補生に合格した喜びだそうです。また、那覇基地南西航空警戒管制隊司令部勤務で准曹士先任業務を3年間務めたこと、その勤務経験で自衛官としての誇りと自信を得ることができたこと、思い出に残る勤務は、最初の任地稚内で経験した冬の厳しい寒さ、そして曹候補生に合格した喜びだそうです。また、那覇基地南西航空警戒管制隊司令部勤務で准曹士先任業務を3年間務めたこと、その勤務経験で自衛官としての誇りと自信を得ることができたこと、思い出に残る勤務は、最初の任地稚内で経験した冬の厳しい寒さ、そして曹候補生に合格した喜びだそうです。

- ◎ 春の叙勲 (防衛功労)
 - ★ 瑞宝小綬章 (薩摩川内(陸))
 - 徳留 和範 殿
 - ◆ 鹿地協(陸)
 - 名越 高正 殿
 - ◆ 隼人(海)
 - 平原 誠 殿
- ◎ 春の叙勲 (危険業務)
 - ★ 瑞宝双光章 (志布志(陸))
 - 宮脇 元雄 殿
 - ◆ 隼人(陸)
 - 新吉 一孝 殿
 - ◆ 鹿地協(陸)
 - 川崎 明美 殿
 - ◆ 鹿屋(海)
 - 白石 仁司 殿
 - 松田 純一 殿
 - ◆ 霧島(陸)
 - 有村 伸一 殿
 - ◆ 瑞宝単光章 (国分(陸))
 - 加世田 定殿

〈業務内容〉

- ◆ 叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
- ◆ 拝謁上京時のご案内
- ◆ 叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
- ◆ 叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい
たからてんじんどう

株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話：099-218-4081
HP：http://www.jokun-iino.jp

防衛省団体扱い自動車保険(指定店)

この団体扱いは一般契約に比べて保険料が

なんと19%割安です

*初回の契約時に退職時の辞令書又は在職証明書が必要です。

- 詳しいことは 担当：安田 良
- 連絡先：090-8289-2232

(引受保険会社)
損害保険ジャパン 代理店 ASJ鹿児島
※中古車販売及び車検も承ります。

予備自衛官 制度70周年 鹿兒島地本 予備自衛官班長 小湊克裕氏

予備自衛官制度は、昭和29年7月1日に陸上自衛隊発足とともに創設され、今年（令和6年）70周年の節目を迎えます。その間、平成9年度には即応予備自衛官制度平成13年度には予備自衛官補制度が導入され、皆様の深いご理解とご協力を頂きながら発展してきました。



予備自衛官制度創設70周年記念パンフレット

海自勤務を 振り返って 奄美基地分遣隊 海曹長 井上春海

まさか、自分がもう定年退職が間近に迫っているとは思えない程、充実した勤務生活、私生活だったと思います。それが定年前の第一印象です。私は、昭和62年3月佐世保教育隊第250期練習員として海上自衛隊に入隊しました。その時の気持ちは長く務めるつもりはありませんでした。勤務していく内に色々な



井上春海 海曹長

昨年度の鹿児島地本における予備自衛官招集訓練の成果としましては、国分・川内共に7月からそれぞれ訓練が開始され隊友会をはじめ多くの皆様の激励やご支援を受けながら両駐屯地で延べ8回を実施しました。

また、県内の訓練に加えて、中央訓練（朝霞）西部方面隊訓練（健軍・北熊本）、西部方面衛生隊訓練（健軍）等も実施され、約500人の予備自衛官がそれぞれの訓練に参加しました。

この間、鹿児島地本としましては、予備自衛官の皆様の積極的な訓練参加を得て、西部方面総監部から示された訓練出頭率及び充足目標数の何れも達成することができております。

定年退職を 迎えて 下甕島分屯基地 1等空曹上峯輝己



上峯輝己 1等空曹

私は昭和63年4月に航空自衛隊に入隊し、早いもので自衛隊生活37年、令和7年10月に定年退職を迎えることとなります。その間、沢山の上司や先輩、同僚に支え

地域、人との出会いがあり、仕事内容も充実してくと、このまま自衛隊で定年を迎えるのもいいかと思いついて、最後の決め手は家族が出来たことでした。しっかりと地に足を付けないと決意し、今となりました。

今までの勤務地は、徳島、神奈川、広島、山口沖繩、長崎、そして、最後の勤務地が鹿児島県奄美大島です。

奄美大島は自然が多く何と言つても海が綺麗。海水温が高くなると毎週のように島内各所のビーチへ行き、シュノーケリング三昧でした。本土では見られない熱帯魚や危険生物のサメやウミヘビ等との遭遇も体験しました。

また、ボランティア活動に参加し、浜辺に打ち揚げられた海外のペット

られ、ここまで勤務できたことを感謝しております。私は、入隊してから警備職一筋で勤務してきました。入隊した当時は正門の立哨、基地内の巡察などの恒常業務だけではなく、武道訓練への参加の機会を極めて多くいただきました。全国の基地に行くとともに、大会においても入賞できたことが思い出となっていきます。

警備職としては、アメリカの同時多発テロ以降基地警備の強化、警備訓練の多様化及び隊員の省人化により、一層厳しい勤務環境ではありますが引き続き後輩育成等、定年まで部隊精進のため尽力いたします。

これからも、自衛隊はより一層国民の皆様の期待を背負っていかなくてはなりません。自身として支援を隊友会会員として精一杯行おう所存です。

隊友会の皆様には、当制度をご理解の上、引き続き予備自衛官等を希望する後輩の情報提供を、宜しくお願い致します。

ボトルや瓶、缶、漁具など1週間前に清掃活動を行ったにも関わらず次の週には大量のゴミ。もどかしさもあるものの、清掃活動をする事によって自然が守られることに微力ではありますが、貢献できたこともいい経験でした。



コガネグモの写真

航空機搭乗員 の夢が現実に 第1航空隊 海士長 佐々木博登



搭乗員勤務中の佐々木海士長

私は、現在第1航空隊第12飛行隊で勤務している最年少、期待の新人です。鹿児島生まれ鹿児島育ちの生粋の鹿屋っ子であり、鹿屋を愛し鹿屋に愛され

長の際に際して島津義弘公が兵士の士気を高めるために始めたといわれています。薩摩川内市では重要無形民俗文化財の「一川内大綱引」があり、蜘蛛合戦とともに四百年以上の歴史を誇ります。

子供の頃にはコガネグモは身近にいて、捕まえていた記憶があります。コガネグモではないものの、近くの野原に行くと種類はわかりませんが蜘蛛が巣を張ってしつかりと獲物を待っています。

天然のくも糸の主成分はタンパク質で、一般的にはクモの巣には大きく分けて2種類の糸が使われています。巣を支える縦糸は強度が高く、伸縮性が低い糸。獲物を捕らえるための横糸は、強度は高くない反面、非常に伸縮性の高い糸が使われています。この構造で非常に高いタフネスを発揮できると考えられています。

蜘蛛を見ていると、実

た男（自称）であります。幼少期の頃から鹿屋航空基地近辺で過ごしており、鹿屋市のビッグイベントの「エアームメモリアリンかのや」にも度々足を運び、航空機が間近で飛ぶ姿を見ているうちに憧れを抱き、自分も航空機の搭乗員になりたいと夢見ていたのが、入隊のきっかけでした。

私の幼少期からの夢であった搭乗員になるための教育課程に入校することができ、念願をかなえることができました。入校後は挫折しかけることもありましたが、持ち前の明るさと入隊前に培

た能力を発揮しながら同期と切磋琢磨することで晴れて憧れの搭乗員となる事ができました。

私の所属する第1航空隊の任務は、海自固定翼最新鋭の「P-1」による我が国周辺海域における警戒監視等です。そこで私は機上対潜音響員という、ソノブイと呼ばれるセンサーから得られる音響情報をもとに、潜水艦の捜索、識別、追尾、位置極限を実施する上で重要な配置を任されています。国防に直結する任務に従事している自覚と責任で日々勤務に励んでいます。

一人前の機上対潜音響員を目指すし、今はまだ修行の身ではあります。幼少期から航空機に憧れを持ったように、自衛官として勤務したいと憧れられる隊員となるよう日々精進していく所存です。

のを感じますが、心身ともに元気をだしてもう少しの間いろいろな活動に携わっていこうと思うこの頃です。

一人前の機上対潜音響員を目指すし、今はまだ修行の身ではあります。幼少期から航空機に憧れを持ったように、自衛官として勤務したいと憧れられる隊員となるよう日々精進していく所存です。

隊友会鹿兒島地区協議会では、6月9日（日）自衛隊鹿兒島地方協力本部長、募集課長、援護課長を来賓にお迎えし、会員40名が参加して鹿児島県護国神社において、

令和6年度定期総会を開催した。はじめに家族会員を含む6名の物故会員に黙祷し冥福を祈った後、国歌・隊友会歌を斉唱した。協議の前に表彰式を実施し、佐野副会長、福島卓氏への25年勤続表彰及び地区協議会表彰を行うとともに新会員を紹介し会員バッジを贈呈した。協議においては5年度の事業・決算報告、6年度事業計画・予算案が審

議され、特に鹿児島戦没者墓地の愛護清掃等に関する詳細な説明など整齊と進

松浦幸一地本長による九州・沖縄を守る」と題した講話を拝聴し我が国周辺の緊迫した情勢や防衛力整備の状況等について貴重なお話を伺うことができた。最後は全員揃っての会食となり和気藹々のうちに終了した。

の頃です。

隊友会鹿兒島地区協議会では、6月9日（日）自衛隊鹿兒島地方協力本部長、募集課長、援護課長を来賓にお迎えし、会員40名が参加して鹿児島県護国神社において、

令和6年度定期総会を開催した。はじめに家族会員を含む6名の物故会員に黙祷し冥福を祈った後、国歌・隊友会歌を斉唱した。協議の前に表彰式を実施し、佐野副会長、福島卓氏への25年勤続表彰及び地区協議会表彰を行うとともに新会員を紹介し会員バッジを贈呈した。協議においては5年度の事業・決算報告、6年度事業計画・予算案が審

議され、特に鹿児島戦没者墓地の愛護清掃等に関する詳細な説明など整齊と進

松浦幸一地本長による九州・沖縄を守る」と題した講話を拝聴し我が国周辺の緊迫した情勢や防衛力整備の状況等について貴重なお話を伺うことができた。最後は全員揃っての会食となり和気藹々のうちに終了した。

なにかま法律事務所
加治屋町電停・バス停より徒歩4分
鹿児島市加治屋町 15-20
TEL: 099-216-8788
HP: 検索 なにかま法律事務所 鹿児島

道言・相城 交通事故 企業法務 借金
★他、不動産取引、民事・家事一般、刑事
5分間 無料電話 Q&A
法律相談 30分あたり 5,000円 (税別) 不取
交通事故相談は初回無料 (物損のみは除く)
なにかま法律事務所
加治屋町電停・バス停より徒歩4分
鹿児島市加治屋町 15-20
TEL: 099-216-8788
HP: 検索 なにかま法律事務所 鹿児島

鹿兒島借行会
会長 宮口修一
元幹部自衛官と田陸軍校校の会
幹部自衛官OBの皆様、長年に亘り我国防衛の第一線での活躍、大変お疲れ様でした。鹿兒島借行会は、皆様の入会をお待ちしています。(連絡先) 鹿兒島借行会事務局 〒892-0815 鹿児島市易居町10-12村田ビル1階 鹿兒島県隊友会事務所内 TEL: 099-295-6724 FAX: 099-295-6723 (連絡先) 事務局長 宮ノ原 敬 携帯 090-7473-5923、Eメール hiro-m@po.mct.ne.jp 英霊に敬意を。日本に誇りを。